

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院産婦人科に、卵巣癌、子宮体癌、子宮頸癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学産科婦人科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

産科婦人科におけるがん遺伝子パネル検査施行例の検討について

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 産科婦人科 学内助教 寺本 綾女

3. 研究の目的

近年、がん遺伝子パネル検査が保険収載され、婦人科癌においても施行されることが多くなってきている。婦人科癌に対して施行した例において治療へ結び付く頻度、導入のタイミングについて検討を行い、今後も遺伝子パネル検査施行を適切に行うことを目的としている。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

婦人科癌の患者さんで、2020年1月1日から2022年8月31日までの期間中に、和歌山県立医科大学 産科婦人科にて遺伝子パネル検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、癌種、新後期、組織型、化学療法レジメン数、パネル検査施行時期とその結果、転帰に関する情報です。

(3) 方法

診療録を振り返り、治療に結び付く状況を検討し、適切な検査時期および対象について検討する。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

なし

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 産科婦人科 担当医師 寺本 綾女

TEL : 073-441-0631 FAX : 073-445-1161

E-mail : sanpu1@wakayama-med.ac.jp